

## Q 新型コロナウイルスの変異について教えてください。

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識（2021年2月時点）から抜粋

A 現在、従来よりも**感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株**（※1）や、**ワクチンが効きにくい可能性のある変異株**が世界各地で報告されています。

日本では、変異株のクラスターが複数報告され、海外とのつながりのない事例も継続して確認されてますが、**地域で広く流行している状況ではありません。**

厚生労働省では、国内で確認された新型コロナウイルスのゲノムを解析し、変異の状況を監視しています。世界保健機関（WHO）や専門家とも情報交換を行い、こうした変異の分析・評価を行うとともに、国内の監視体制を強化しています。また、変異株事例が確認された場合には、検査や積極的疫学調査を強化して、封じ込めを図ってまいります。

個人の基本的な感染予防策は、変異株であっても、**3密（特にリスクの高い5つの場面）の回避、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有効**です。国民の皆様には、改めて感染予防対策へのご協力をお願いいたします。

※1 英国の専門家会議の見解によると、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株は、子どもが大人よりも感染しやすいということはなく、どの年齢であっても感染しやすい可能性があるとして報告されています。

（参考）一般的にウイルスは流行していく中で少しずつ変異を起こしていきます。この変異したウイルスが変異株です。変異が起こると性質の変化が起こり、感染しやすくなる場合等があります。新型コロナウイルスについても、約2週間で1カ所程度の速度で変異していると考えられています。